

＜新年を迎えて＞

新しい年を迎えました。自分は何を大切にすべきか、何が足りないかを考えて、発表してくれた4人と同じように、今年の目標をしっかりと立てることができましたか。校長先生は、今年も「秋保中学校で良かった」と思える学校にしていくことが目標です。

去年この場で皆さんにユネスコスクールを目指すという目標を話したのを覚えていますか。先日ユネスコ事務局から連絡があり、国連から認定されることになりました。今まで皆さんと取り組んできたキャリアインターンシップや起業体験教育などの秋保の将来を考える取組、また太鼓や篠笛を通して地域の伝統文化を継承していく取組がユネスコの目指すSDGs「持続可能な地域社会」に貢献する活動として認められました。でも、認められることがゴールではありません。これからが大切です。中学校は皆さんの人生の3年間でしかありません。秋保中学校で経験したことをこれからの人生にいかに生かしていけるかが大切です。

中学校では、今まで取り組んできたことをさらに発展させます。まずは、1/25(土)に行われる仙台市主催の「地域活動のつどい」で発表させてもらえることになりました。地域でも皆さんの活動が認められてきています。発表を通してさらに地域の皆さんの応援をお願いしてきたいと思います。さら2/16(日)には太白区の10代の若者が集う中央市民センター主催の「未来サミット」にも招待されています。代表として発表したいと希望する人を募集しています。

次に2/4(火)に前から話していた中国からの教育旅行を受け入れます。3年生は私立高校入試当日なので今回は交流できませんが、1,2年生は音楽の授業で篠笛や太鼓を披露し、中国の中学生に日本の文化を体験してもらう予定です。教育委員会をお願いして給食も一緒に食べることにしました。食文化の違いも学んでほしいと思います。さらに今回来る9歳から14歳の生徒は英語が堪能だそうです。中国では小学校から英語を取り入れています。是非英語で会話をしてほしいと思います。秋保をPRして、リピーターとして、今度は家族と一緒に秋保に来てもらえるよう頑張ってください。このように今年は、ユネスコスクールとしていろいろな活動が広がっていきます。

もう一つ去年この場で「元」の漢字について話しました。一文字では「もと」と読みます。二つ続けると「もともと」となります。元に戻るというのは最初の状態に戻る、リセットすることです。元旦というのは、新しい年、初日の出を迎え、気持ちを元に戻して新しくスタートするという意味があります。元気は、元々人間が持っている気ということです。元々は元気であることが人間の本当の姿なのです。元気がなくなるということは、本当の姿ではないのです。元気がなくなったときは、気持ちを落ち着けて元々の状態である元気を取り戻してください。そして、周りに元気のない人がいたら「大丈夫？」と声を掛けられるような雰囲気大切にしていきます。2月には母校の大学の先生が考えた「脱いじめ傍観者プログラム」による授業を行う予定です。

今年は3年生が自分の将来に向けて大きくステップを踏むことになります。中学校で今まで経験してきたことを実際に生かす時です。皆さんには大切なことを見極める力、そして目が身についているはず。新しい環境の中で存分に自分を発揮してほしいと思います。

1,2年生は先輩として新入生を迎え、秋保中学校の新しい歴史を刻むことになります。これからも励まし合う雰囲気を大事にして、今年1年、自分が立てた目標を達成できるように、そして、みんなでも楽しく学校生活を送っていけるようお互いgiveの気持ちを大切にして声を掛け合っていきましょう。